

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

西川ゴム工業株式会社 吉田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸高田市吉田町吉田1489-23

(3) 業種

工業用ゴム製品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、令和元年度を基準年度とし、令和2年度から令和4年度までの3年間とする。

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 投入量千t

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度		計画期間の実績			
		上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)		(上段：原単位実績(d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))			
	令和 元年度	令和 4年	令和 2年度	令和 3年度	令和 年度	令和 年度	令和 年度
エネルギー起源CO2	822	798 -3.0	849 -3.2	858 -4.3	100.0	100.0	100.0
非エネルギー起源CO2		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス排出量総計	822	798 -3.0	849 -3.2	858 -4.3	100.0	100.0	100.0
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)	3,276	3,270 -0.2	2824.46 13.8	2707.44 17.4	100.0	100.0	100.0
実績に対する自己評価	令和3年度は確定していた受注数が月度内で変動する状態であり、急な生産計画の変更が多発していた。 そのため生産設備の立ち上げ回数が不要に多くなっていた。 また、受注先のメーカー毎で比べても受注量に大きな差があり生産工程毎に稼働状況は異なっていた。 ユーティリティ設備は生産状況にかかわらず稼働させないといけない為 投入量に対するエネルギーロスが多くなっていることによりエネルギー原単位が悪化した。						

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100      削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

項目	削減量等	具体的な取組
1 電力使用量の削減	66KLの削減	LED照明への置換 15台 水切りのブロワ化 加熱炉遮熱シート貼り付け 型バラシ油圧ポンプの不使用时停止化 油圧成型機型開時最高使用圧変更 インバータ制御ブロワの周波数変更
2		
3		
4		

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電力使用量の削減	毎週金曜 生産終了後	省エネパトロールを実施し不要な設備の電源をOFF, エアー漏れの箇所を確認。即時対応。
2	電力使用量の削減	省エネ活動報告	毎月1回4工場+協力企業が集まり省エネ活動報告会実施。他の工場省エネ事例を確認し水平展開を実施。
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。